

JA豊橋茄子部会みどり戦略協議会(愛知県豊橋市)

1 産地の概要

<対象地域> 豊橋市

<対象品目> ナス

<産地の現状・課題>

本地域は愛知県内一の促成ナス産地であるが、栽培期間が9月から翌年7月までと長期に渡るため病害虫防除に苦慮している。その中でも特に、アザミウマ類に対する薬剤抵抗性が高まりつつあり、化学合成農薬による防除が困難になっている。そのため、化学合成農薬に頼らないIPM防除の技術確立が必要である。

本地域では、数年前から土着天敵「タバコカスミカメ(以下、天敵)」を用いたアザミウマ類及びコナジラミ類の防除に数名の農業者が取り組んでおり、天敵防除の目途がつきつつあるが、天敵の採取及び増殖が課題となっている。

2 検討体制

- ・JA豊橋茄子部会(実証ほの管理、技術の検証、経理)
- ・豊橋農業協同組合(研修会・検討会の開催、実証ほの運営指導、技術指導、事業進捗管理、協議会の運営支援)
- ・JAあいち経済連(新資材情報の提供、販売情報の提供)
- ・愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課、農業総合試験場普及戦略部(事業のコーディネート、技術実証支援、試験研究成果の提供、まとめ)



クレオメ定植作業の様子



定植されたクレオメ



増殖したタバコカスミカメ

3 グリーンな栽培体系

<環境にやさしい栽培技術>

取組項目	作業段階	新たに取り入れる技術
化学農薬の使用量低減	病害虫管理	<取り入れる技術> 土着天敵の地域増殖と迅速な普及
		<見込まれる効果> 化学農薬の使用量低減

<省力化に資する技術>

作業段階	新たに取り入れる技術
その他	<取り入れる技術> 土着天敵の地域増殖技術
	<見込まれる効果> アザミウマ等の病害虫防除における化学合成農薬散布回数2回低減

4 活動内容及び今後の展開

<活動内容>

本会は、天敵を増殖するための地域増殖ハウスを設置し、バンカー植物のクレオメを定植した。9月には23名分の天敵が確保でき、同月からナス本圃に導入された。本圃では、天敵の増殖程度及び害虫の発生程度を調査し、防除効果及び化学合成農薬の低減効果を確認できた。

<今後の展開>

天敵利用の拡大を図るため、地域増殖ハウスの拡大や天敵温存植物の栽培方式の見直し等により供給体制を強化する。本防除技術を定着させることで、産地全体の防除回数の削減につなげ、本地域のナス栽培における環境負荷の低減を目指す。